

週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎(752)0453 植田 進 ☎(487)9754
いはら 忠 ☎(488)7207

発行
日本共産党
八千代市議会議員団
八千代市大和田新田
312-5
☎(483)1151

危険な訓練中止を防衛省に申し入れ

陸上自衛隊習志野演習場周辺の八千代市を含む3自治体の市議団は17日、防衛省に同演習場でのパラシュート降下訓練の中止など3項目について防衛省に要望しました。

この申し入れに畑野君枝、斉藤和子両衆議院も参加しました。

習志野演習場では5月30日、降下訓練中の隊員3人が隣接する八千代市高津の住宅地に降下する事故を起こし、住宅のテレビアンテナ、雨どい、屋根瓦を損傷、隊員一人が負傷しました。

そもそも、習志野演習場は全国の演習場と比較して、極端に面積が狭く（221ヘクタール）、しかも住宅密集地に囲まれていて、これまでも繰り返し場外降着事故を起こしています。



申し入れに参加の3市議団

参加者からつぎつぎと訴えが

斉藤衆院議員は、「しっかり地元の要望を受け止めてほしい」と述べ、畑野衆院議員は、「住民が心配していた事故が起きた。訓練はやめていただきたい」と求めました。

また参加者から、「毎年のように事故が起きているが、再発防止に努力すると繰り返すだけで、具体策が示されていない」「突風や風向きが急に変わっての事故は、不可抗力で防ぎようがない」「12か所ある降下訓練のできる演習場のなかで最も狭く、住宅地に隣接している」「騒音・砂塵などで、運動会が中断、洗濯物がよごれる」など訴えました。

防衛省担当者は、「隣接する習志野駐屯地の第一空挺団の練度を維持・向上するために同演習場での訓練が必要だ」と、今後とも継続する考えを示しました。

住宅密集地での訓練中止を引き続き求めます

海外でアメリカが引き起こす戦争に、自衛隊とわかものを参加させる集団的自衛権の行使を閣議で容認して以来、習志野演習場での訓練の頻度が高まり、場外降着事故の危険が増え、騒音による生活と授業などへの影響が深刻になっています。

日本共産党は、住民のみなさんとご一緒に、習志野演習場でのパラシュート降下訓練の中止を求め、国・防衛省、自治体に働きかけます。